

A LIBRARY FOR ALL

米国議会図書館
戦略計画
2024-2028

すべての人のための図書館

デジタルシフトの次へ
米国議会図書館の新戦略から見てくるもの
国立国会図書館
2024年9月24日

LIBRARY
LIBRARY
OF CONGRESS

すべての人のための図書館

米国議会図書館（LOC）戦略計画2024-2028

登壇者 マーク・スウィーニー（米国議会図書館首席副館長）

振り返り：

米国議会図書館 戦略計画 2019-2023

米国議会図書館 戦略計画 2024-2028

デジタルへの取組

来館者体験向上への取組



図書館体験を 豊かにする

振り返り：
米国議会図書館 戦略計画
2019-2023

図書館体験を豊かにする

米国議会図書館
戦略計画
2019-2023



米国議会:

知的自由と民主的交流を最優先で支援

利用者



米国議会:

知的自由と民主的交流を最優先で支援

クリエイター:

研究者、新しい知識や学問の創始者、文化の発展への貢献者、著作権の利用者と利害関係者

利用者



米国議会:

知的自由と民主的交流を最優先で支援

クリエイター:

研究者、新しい知識や学問の創始者、文化の発展への貢献者、著作権の利用者と利害関係者

学習者:

デジタルおよび物理的なコレクションとサービスを通じて理解と知識を求めるすべての年代の人々

利用者



米国議会:

知的自由と民主的交流を最優先で支援

クリエイター:

研究者、新しい知識や学問の創始者、文化の発展への貢献者、著作権の利用者と利害関係者

学習者:

デジタルおよび物理的なコレクションとサービスを通じて理解と知識を求めるすべての年代の人々

仲介者:

利用者を最終的にLOCと結びつける外部コミュニティ
(図書館、学校、その他のグループや機関)

利用者





図書館体験を豊かにする

米国議会図書館
戦略計画
2019-2023

デジタル戦略



デジタル戦略計画
2019-2023
米国議会図書館戦略計画

バージョン1.1.2 2019年4月26日

LIBRARY
LIBRARY
OF CONGRESS

**A LIBRARY
FOR ALL**

米国議会図書館

戦略計画

2024-2028

すべての人のための図書館

A LIBRARY FOR ALL

すべての人のための図書館

米国議会図書館
戦略計画
2024-2028



ミッション・ ステートメント

存在意義

普遍的で永続的な知識
と創造性の源によって、
議会と米国民を引きつけ、
刺激し、情報を提供する



ビジョン・ステートメント

目指すべき未来

すべてのアメリカ国民は米国議会図書館につながる



多くの声、多くの情報源 新計画を策定



戦略テーマ

LOCの あらゆる部分で重要

✓ デジタル対応

✓ ユーザー中心

✓ データ活用

✓ 包摂的かつ歓迎的

✓ 協力と連携

✓ コミュニティへの関わり



戦略テーマ

LOCの あらゆる部分で重要

✓ デジタル対応

✓ ユーザー中心

✓ データ活用

✓ 包摂的かつ歓迎的

✓ 協力と連携

✓ コミュニティへの関わり



戦略テーマ

LOCの
あらゆる部分で重要

✓ デジタル対応

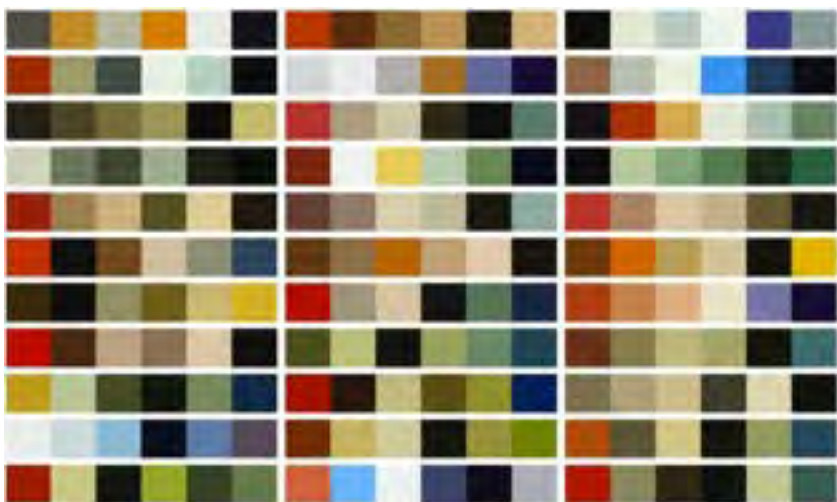
✓ ユーザー中心

✓ データ活用

✓ 包摂的かつ歓迎的

✓ 協力と連携

✓ コミュニティへの関わり



戦略テーマ

LOCの あらゆる部分で重要

✓ デジタル対応

✓ ユーザー中心

✓ データ活用

✓ 包摂的かつ歓迎的

✓ 協力と連携

✓ コミュニティへの関わり



戦略テーマ

LOCの あらゆる部分で重要

✓ デジタル対応

✓ ユーザー中心

✓ データ活用

✓ 包摂的かつ歓迎的

✓ 協力と連携

✓ コミュニティへの関わり



戦略テーマ

LOCの
あらゆる部分で重要

✓ デジタル対応

✓ ユーザー中心

✓ データ活用

✓ 包摂的かつ歓迎的

✓ 協力と連携

✓ コミュニティへの関わり





戦略目標 2024-2028



アクセスの
拡大



サービスの
強化



能力の向上



イノベーション
の促進



目標 #1



アクセスの 拡大

利用者がLOCの蔵書、
専門家、サービスを、
必要なときに、必要な
場所で、必要な形で
利用できるようにする

- 蔵書やサービスの検索性、
利用可能性、アクセシビリ
ティを向上させる
- 米国の議会とコミュニティ
に貢献するためLOCの蔵
書とコンテンツを構築し、
充実させる
- 知識と創造性へのアクセ
スを持続
- 魅力的で刺激的なデジタ
ルと対面の空間で来館者
を引きつける



目標 #2



サービスの強化

すべての利用者に価値ある体験を提供し、LOCとの生涯にわたるつながりを築く

- コミュニティを理解し、関与する
- デジタル・サービスを強化し、コミュニティのニーズに応える
- 信頼性が高く、権威あるデータを提供する
- 協力して影響力を拡大する



目標 #3



能力の向上

スタッフを支援し、運営を強化する

- 柔軟で多様性に富み、結束力のある人材を支援する
- デジタルスキルを重視してスタッフの能力を開発する
- 安全、公正、包摂的、協力的な環境を促進する
- 運営とシステムを最適化し、パフォーマンスを向上させる



目標 #4



イノベーション の促進

新しいアプローチや新興
技術を探求し、課題に対
処し創造性を刺激する

- 好奇心と挑戦を促し、
変化する課題に対応す
る
- 創造的アプローチと新興
技術を活用してイノー
ベーションを起こす
- データを活用し、新たな
道筋と機会を発見する



戦略的枠組み2024-2028

ミッション

普遍的で永続的な知識と創造性の源によって、議会と米国民を引きつけ、刺激し、情報を提供する

ビジョン

すべてのアメリカ国民は米国議会図書館につながる



アクセスの
拡大



サービスの
強化



能力の向上



イノベーション
の促進

戦略計画ロードマップ^o2019-2023 - V6

2023年12月

米国議会図書館 実施ロードマップ

目標	2019	2020	2021	2022	2023	インパクト
目標1: アクセシビリティの拡大 1. 発見可能性と利用可能性を向上させる 2. 仲介者を活用して影響範囲を広げる 3. 物理的な存在感を拡大する	DPS (資料検索・保存サービス部門)、OCIO (最高情報責任者室): 閲覧室におけるeDepositへのアクセスが拡大	DPS: BIBFRAMの標準とツールが開発され、図書館スタッフは継続的に業務に従事	DPS: デジタル・スキャン・センター設立 すべて: デジタルおよび/または物理的な拡張による物理的/デジタルアクセスの拡大	OCIO, NLS (盲人・身体障害者全国図書館サービス): 新しい配信手段を通じてデジタルアクセシビリティを拡大	RCS (研究者およびコレクションサービス)、DPS, LAW, USCO: デジタルコンテンツと記録へのアクセスが増加	より多くのユーザーが場所を問わずLOCの貴重なコンテンツにアクセス可能に 利用者は、LOCのあらゆるコンテンツを簡単に検索し、見つけることができる 対面の体験を通じて、より多くの場所でも、より多くの利用者がLOCと永続的なつながりを感じる LOCが提供するコンテンツやサービスを知る人が増え、利用者へつながる
	CRS (議会調査局): 新メンバーセミナー	LAW (法律図書館): 研究報告書と米国議会シリアルセットのデジタル化開始	DPS: 包括的な権利管理計画を策定 USCO, OGC: 電子書籍のルール策定が完了	DPS: フォート・ミッド(メリーランド州)のモジュール6が完了 DPS, OCIO: Stacks 3.0で金書語とAVコンテンツ形式の適切なサポートを確認	CRS, OCIO: Congress.gov APIを一般公開 RCS: 特殊フォーマットの蔵書における滞滞が、2019年度のLOCの蔵書全体の16%から12.5%未満に減少	利用者は、どのデバイスからでも、LOCのあらゆるコンテンツを簡単に検索し、見つけることができる 来館者は対面の体験を通じてLOCとの永続的なつながりを感じる 来館者はデジタルインタラクションを通じてLOCでの体験を拡張
	CRS, OCIO: 米国憲法注釈(CONAN)ウェブサイトを開設	CEI, CLLE, RCS: 来館者体験を向上させるための計画を発表 CEI (展示・解説センター), CLLE (学習・数字・エンゲージメントセンター): 来館者体験マスタープラン(VEMP)に基づくスペースの展示設計契約が完了	OCIO: LBFMS(立法府財務管理システム)アップグレードの実施 USCO, OCIO: 記録システムのパイロット拡大と登録プロトタイプの利用者ビリティテストが2つのリリースで完了	CLLE: 仲介者との関係強化 CEI, CLLE, RCS: 来館者体験マスタープラン(VEMP)の第一フェーズ完了	NLS, OCIO: デジタル録音資料のダウンロードサービスBARDに代わってマイクロサービスベースのインフラを導入し、音声ユーザーインターフェースを実施	利用者は、どのデバイスからでも、LOCのあらゆるコンテンツを簡単に検索し、見つけることができる 来館者は対面の体験を通じてLOCとの永続的なつながりを感じる 来館者はデジタルインタラクションを通じてLOCでの体験を拡張
	OCIO, USCO: 仮想カード目録(VCC)最終リリース	CRS, OCIO: Congress.gov (立法情報提供システム)はすべての議会関係者にとっての権威ある情報源	USCO, OCIO: 記録システムのパイロットを開始 NLS, OCIO: 新しいデバイスBraille eReaders (点字電子書籍リーダー)の試験運用開始、パードはクラウドへ移行	CLLE: 来館者が参加する新たな機会の創出 CRS, OCIO: Congress.gov APIを一般公開	DPS, OCIO: 検索機能を強化し、デジタルカタログ/リソースへの統合アクセスシステム(L-Cap)を導入	利用者は、どのデバイスからでも、LOCのあらゆるコンテンツを簡単に検索し、見つけることができる 来館者は対面の体験を通じてLOCとの永続的なつながりを感じる 来館者はデジタルインタラクションを通じてLOCでの体験を拡張
目標2: サービスの強化 4. デジタル体験を向上させる 5. 対面での体験を変える 6. 利用者を重視したコンテンツを開発する	LIBN (図書館長室), COO: 組織全体の計画サイクルを調整	USCO: 電子書籍のルール策定が完了	OCIO: ITデータセンターのオンライン化とアプリケーションの移行 OCIO, USCO: ECS (エンタープライズ著作権システム) 公的記録パイロットリリース	COO: CGDデータ利用可能性の改善、データ可視化試験の開始、LBFMSの機能向上 NLS: 近代化計画の実施	OCIO, USCO: 共有グローバルコンポーネントのためのECS設計システムの成熟度 OCIO: Microsoft 365 (M365) 導入開始 COO: エンタープライズ管理システムの導入を開始	近代的、効果的、効率的な機能により、LOCはそのリソースと資源を適切に管理し、利用者によりよいサービスを提供できるようになる 大規模な投資とイノベーションが進む中で、利用者はLCでより充実した、個人に合わせた体験ができるようになる。
	COO (最高執行責任者): HCD (人材資本トソーシングプロジェクト)がセレンディニティ・スマネージャーを導入	LIBN: 資金調達方法を決定し、目標達成に向けた開発ロードマップを策定	CLLE: CLLE再編パッケージを実施 USCO: ランドオーバー(メリーランド州)での業務終了	CLLE: ボランティア・プログラムを通じて能力向上 OCIO: LOCの戦略計画にデジタルを統合	USCO: エンタープライズ著作権システムはCI/CDの導入によって成熟、アクセスが向上	近代的、効果的、効率的な機能により、LOCはそのリソースと資源を適切に管理し、利用者によりよいサービスを提供できるようになる 大規模な投資とイノベーションが進む中で、利用者はLCでより充実した、個人に合わせた体験ができるようになる。
	LIBN: 統合計画、パフォーマンス、リスクフレームワークを開始	OCIO, USCO: ECS向けにSAFEフレームワークを導入	DPS: コレクション・サービス・ワークフローの測定戦略を確立 LIBN: 組織のリスク許容度を設定	OCIO: コミュニティ連携デジタルイニシアティブプログラムを設立 CLLE: プログラム開発に役立つデータの利用拡大	LIBN: 概念実証のための組織KPIダッシュボード	データとフィードバックは、LOCの意思決定、運営、サービス提供に体系的に統合される マイルストーン 実施済み
	LIBN: 実施ロードマップを策定 ALL: アクセシビリティ・ワーキング・グループ発足	COO: 社内顧客サポートのための改善されたシステムの導入	LIBN: 組織のKPIへのアプローチを策定	LIBN: 最初となる組織のKPIセットを導入	組織全体: 利用者の認識を把握するためのアプローチを特定	データとフィードバックは、LOCの意思決定、運営、サービス提供に体系的に統合される マイルストーン 実施済み
目標3: リソースの最適化 7. LOCの中心の活動を連携させる 8. 運営を近代化する 9. 未来の人材に投資する 10. 資金源を多様化し拡大する	LIBN: 統合計画、パフォーマンス、リスクフレームワークを開始	OCIO, USCO: ECS向けにSAFEフレームワークを導入	DPS: コレクション・サービス・ワークフローの測定戦略を確立 LIBN: 組織のリスク許容度を設定	OCIO: コミュニティ連携デジタルイニシアティブプログラムを設立 CLLE: プログラム開発に役立つデータの利用拡大	LIBN: 概念実証のための組織KPIダッシュボード	データとフィードバックは、LOCの意思決定、運営、サービス提供に体系的に統合される マイルストーン 実施済み
	LIBN: 実施ロードマップを策定 ALL: アクセシビリティ・ワーキング・グループ発足	COO: 社内顧客サポートのための改善されたシステムの導入	LIBN: 組織のKPIへのアプローチを策定	LIBN: 最初となる組織のKPIセットを導入	組織全体: 利用者の認識を把握するためのアプローチを特定	データとフィードバックは、LOCの意思決定、運営、サービス提供に体系的に統合される マイルストーン 実施済み
目標4: インパクトの可視化 11. 利用者を理解する 12. インパクトを伝える 13. 持続的な改善の文化を促進する	LIBN: 統合計画、パフォーマンス、リスクフレームワークを開始	OCIO, USCO: ECS向けにSAFEフレームワークを導入	DPS: コレクション・サービス・ワークフローの測定戦略を確立 LIBN: 組織のリスク許容度を設定	OCIO: コミュニティ連携デジタルイニシアティブプログラムを設立 CLLE: プログラム開発に役立つデータの利用拡大	LIBN: 概念実証のための組織KPIダッシュボード	データとフィードバックは、LOCの意思決定、運営、サービス提供に体系的に統合される マイルストーン 実施済み
	LIBN: 実施ロードマップを策定 ALL: アクセシビリティ・ワーキング・グループ発足	COO: 社内顧客サポートのための改善されたシステムの導入	LIBN: 組織のKPIへのアプローチを策定	LIBN: 最初となる組織のKPIセットを導入	組織全体: 利用者の認識を把握するためのアプローチを特定	データとフィードバックは、LOCの意思決定、運営、サービス提供に体系的に統合される マイルストーン 実施済み



アクセスの拡大

2024年度 優先目標

- 特殊フォーマットの蔵書へのアクセシビリティを改善し、2028年度までに滞貨を蔵書全体の10%未満に減らす
- 来館者体験マスタープランの実施を継続し、LOCと利用者のつながりを強化する
- 法律図書館の資料を戦略的にデジタル化し、利用者のニーズに対応する
- デジタルコレクション戦略を実行する



サービスの強化

2024年度 優先目標

- 米国著作権局（USCO）の記録のデジタル化、相互接続、検索性を実現して利用しやすくする
- 点字・録音資料のダウンロードサービスBARD（Braille and Audio Reading Download）が提供するコンテンツの拡張性、使いやすさ、柔軟性を向上させる
- 戦略的で標準化され、利用者を重視したプログラムを開発し、蔵書、専門家、サービスへのアクセスを拡大する





能力の向上

2024年度 優先目標

- 蔵書全体への統一されたアクセスと検索機能を提供し、利用者が簡単に検索と発見ができるようにする
- 立法情報提供システムCongress.govに新しい機能とコンテンツを実装し、議員、スタッフ、有権者にサービスを提供する唯一の立法情報プラットフォームとしてのウェブサイトの価値を高める
- 強力で連携しやすいクラウドベースのオフィス生産性ツールを利用することでLOC利用者にとってより柔軟で効率的な環境を構築する



イノベーションの促進

2024年度 優先目標

- 参加者の声、調査、評価をLOCの公開プログラムに反映させる
- コネクティング・コミュニティ・デジタル・イニシアチブ（CCDI）の一環として、黒人、先住民、ラテンアメリカ系、アジア系アメリカ人、太平洋諸島民、その他のコミュニティとの関わりを通じて、LOCの蔵書の認知度を高め、創造性を引き出すデジタル手法を開発し、利用者により深くつながる
- 議会調査局（CRS）の成果物やサービスを強化するためにA.I.の活用を検討する



米国議会図書館

デジタルへの取組

米国議会図書館

デジタルへの取組





LIBRARY OF CONGRESS
図書館サービス
コレクション開発部門
米国議会図書館における
デジタルコンテンツの収集

2017年2月

LIBRARY
デジタルコレクション戦略の概要
2022-2026



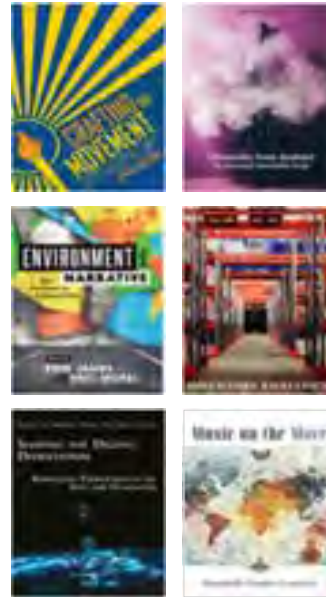


2022-2026
デジタルコレクション戦略
2023-2027
デジタル化戦略

新しい枠組みが、進化するデジタルトランスフォーメーションの未来を導く！



「LOCの2024-2028年戦略計画にデジタル技術を組み込んだのは、デジタルの成熟が進み、技術の重要性がLOCの活動全体で増しているため」



米国議会図書館

来館者体験 向上への取組

米国議会図書館

来館者体験 向上への取組



A LIBRARY FOR ALL

すべての人のための図書館

新しい来館者体験 – あなたのための図書館

1897年に完成した歴史的なボザール様式の建物に、新しいスペースを巧みに統合

LOCの歴史、使命、そして独自の所蔵品やサービスについて来館者にもっと知ってもらう

議会、研究者、来館者へのサービスをバランスよく提供

来館者の興味に応じたコレクションやプログラムを紹介し、探究心を刺激する

建物内の案内表示やアクセスを改善する



米国議会図書館

案内表示

ギャラリーのオープンに合わせて

コンセプトデザインのまとめ

特定する
案内する
方向を示す
情報を提供する



案内表示
館内システム

米国議会図書館

デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン

至宝展

“記憶の収集”

2024年6月オープン



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”

デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン 至宝展 “記憶の収集”

2025年12月まで展示

- LOCが所蔵する至宝の数々
- 120点以上の展示品
- LOCが多様な収蔵品を継続的に収集、保存し、提供していることを示している

開催中！

デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
トレジャーズ・
ギャラリー

1億7800万点以上の所蔵品
から厳選

LIBRARY
LIBRARY
OF CONGRESS



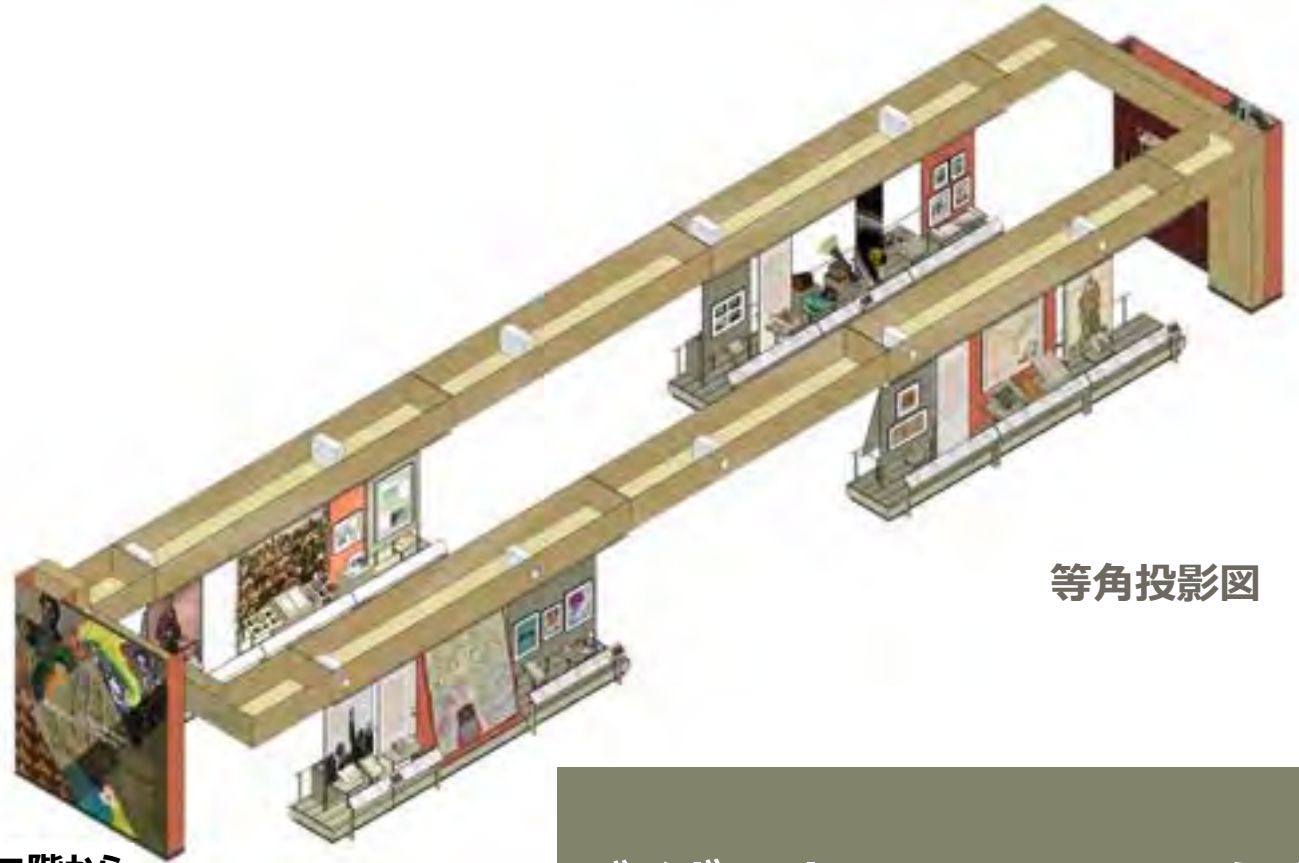
詳しくはこちら

loc.gov/treasures

「記憶の収集」は、各コミュニティが文化的な記憶をどのように保存しているかを探る展示である

- 歴史と個人の人生における重要な瞬間
- 社会全体の集合記憶を保存する
米国議会図書館の役割

中二階から
の入口



等角投影図

デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”



WISDOM IS THE PRINCIPAL THING
FOR TO OBTAIN WISDOM AND WITH ALL
THAT GETTING GET UNDERSTANDING.

KNOWLEDGE IS THE GIFT OF GOD
KNOWLEDGE THE KING
WHERE WE TRY TO BE WISE

KNOWLEDGE IS THE GIFT OF GOD
KNOWLEDGE THE KING
WHERE WE TRY TO BE WISE

Collecting

Memories





David M. Rubenstein
Treasures Gallery

Collecting
Memories

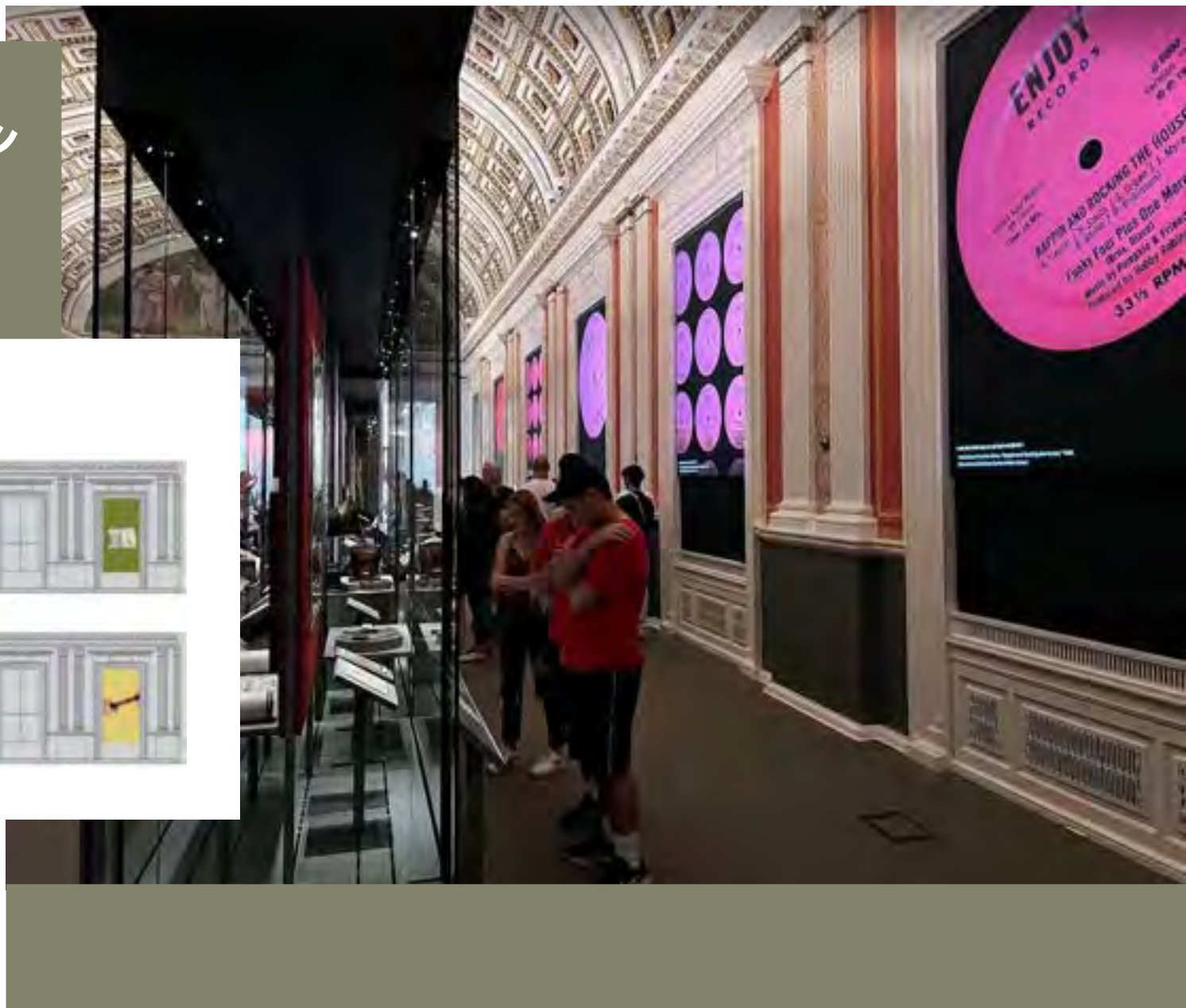
and Commemoration

Women's Stories
Success Experience



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”

窓面投影



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”

窓面投影



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン
至宝展
“記憶の収集”

展示セクション



「彼は少しずつ姿を消して、
伝説と名声へと変わっていく。
肌身離さず携えていたもの
を一つずつ手放しながら」

—詩人スタンリー・クニツ、
『リンカーンの残したもの』1978
年

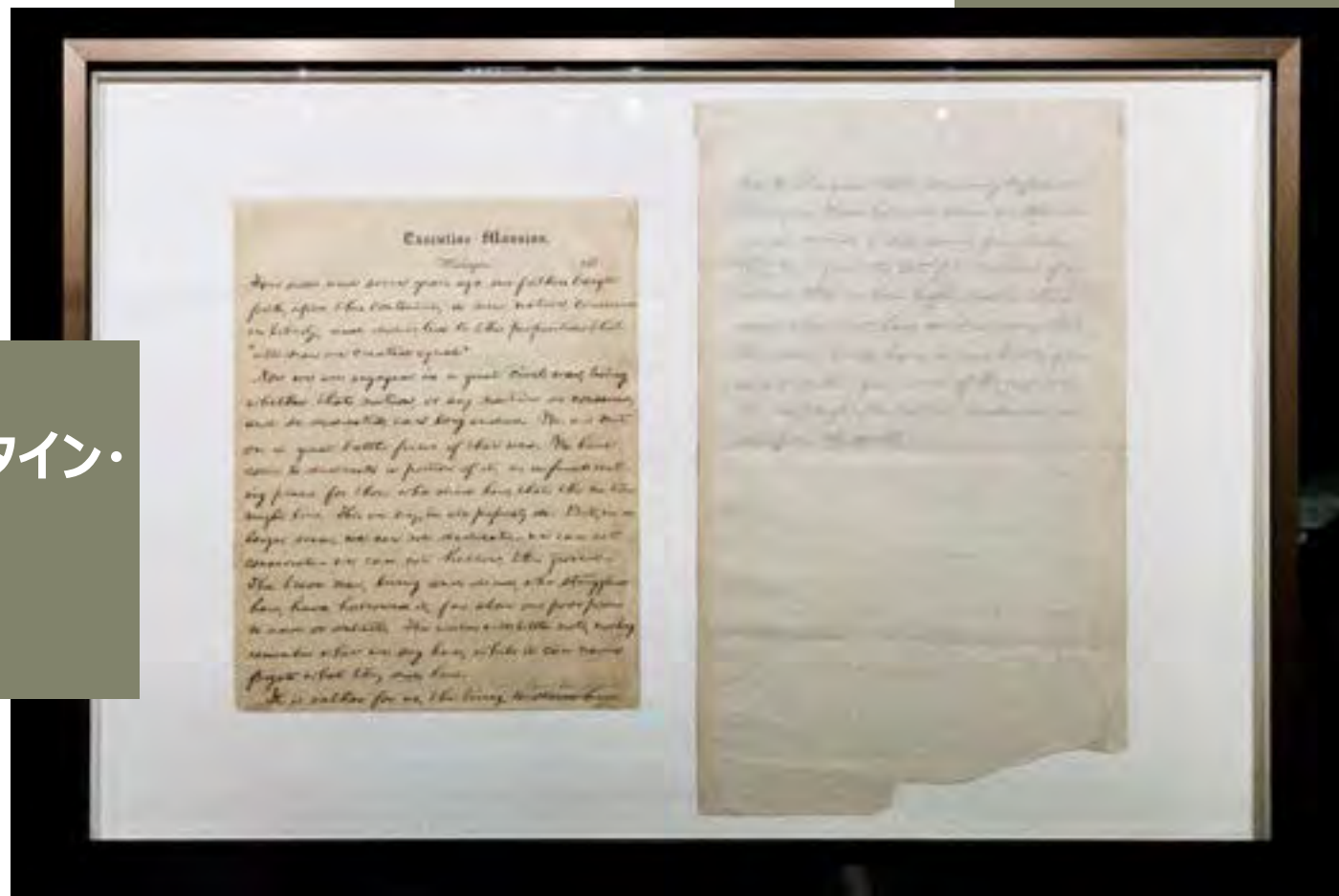
紐で応急処置された眼鏡など、エイブラ
ム・リンカーンが1865年に暗殺された夜にポ
ケットから見つかった遺品。
希少本・特別コレクション部門

古代に始まり、世界中
に広がったモニュメントや
記念碑は、永続的なも
のか一時的なものかにか
かわらず、それを建てた
文化の価値観を公に表
現している。

このような神聖な場所や
記念碑に対する私たち
の理解は、今もなお進
化し続けている。



デイヴィッド・M・ルーベンシュタイン・
至宝展
“記憶の収集”



展示セクション

ゲティスバーグ演説、1863年
希少本・特別コレクション部門

米国議会図書館

THE SOURCE

子どものためのクリエイティブ・リサーチ・スタジオ

2025/2026年 オープン

米国議会図書館

THE SOURCE

子どものためのクリエイティブ・リサーチ・スタジオ



THE SOURCE:

子どものためのクリエイティブ・
リサーチ・スタジオ

- 新しい教育センター
- 8歳以上の子供向け
- 情報とが好奇心、創造性、
変化をどう促すのかを発見する空間
- 13歳以上向けの特別プログラム、ボランティア、インターンシップ

ボックスバー

質問
コーナー



THE SOURCE:

子どものためのクリエイティブ・リサーチ・スタジオ

展示空間の前後比較： 展示前と展示後



米国議会図書館

ジェイ・I・キスラック初期 アメリカ大陸ギャラリー

“初期アメリカ大陸の声”

2026年オープン

米国議会図書館

ジェイ・I・キスラック

初期アメリカ大陸ギャラリー

初期アメリカ大陸の声

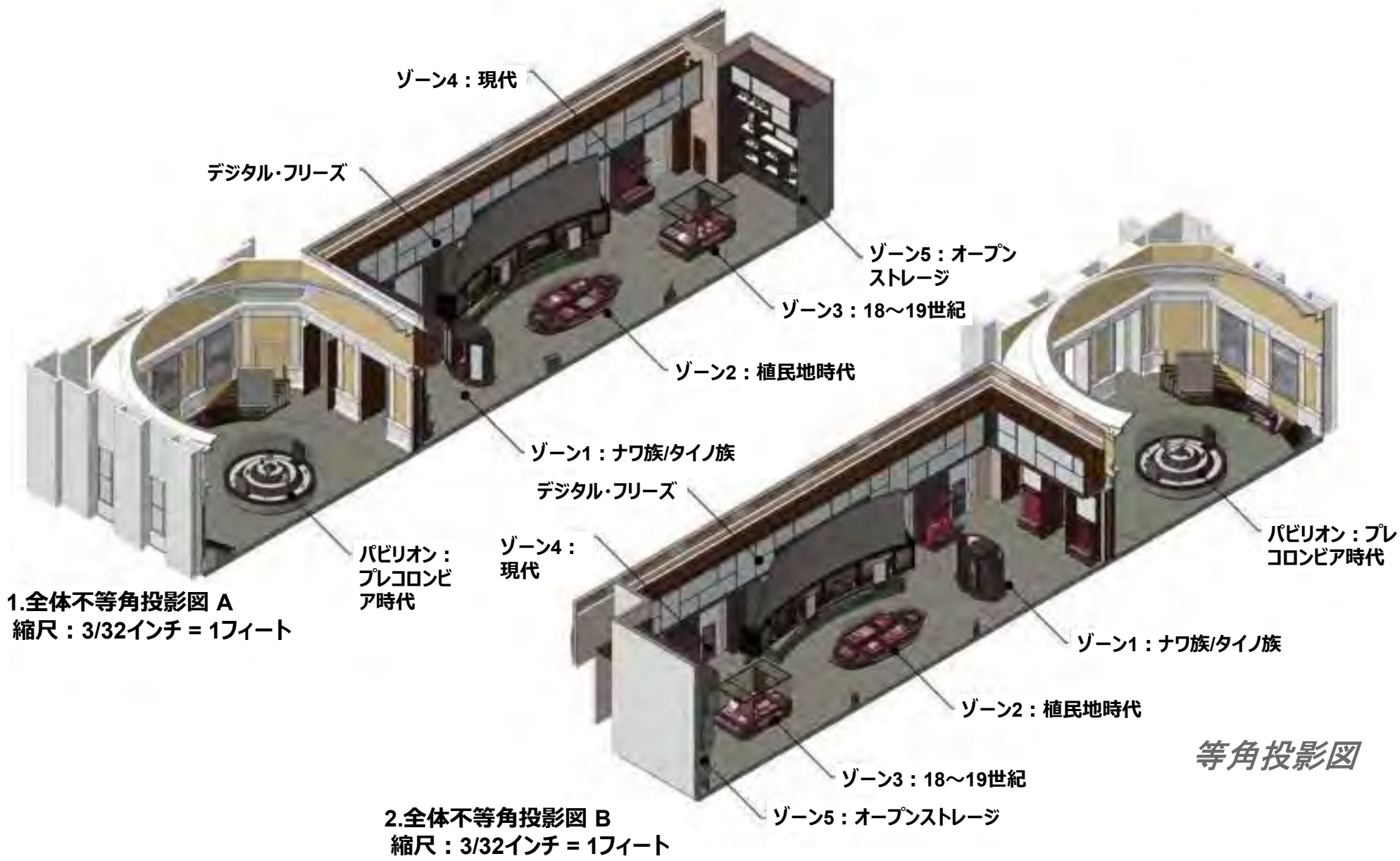
2026年オープン



初期アメリカ大陸の声 ジェイ・I・キスラック・コレクション

- ヨーロッパ人到来前のアメリカ先住民文化の歴史と、その出来事が現在まで及ぼす影響を探る
- この複雑な歴史と活気に満ちた現在のコミュニティを知ることができる
- 最先端の透明展示壁によってキスラック・コレクションを公開する





1.全体不等角投影図 A
縮尺：3/32インチ = 1フィート

2.全体不等角投影図 B
縮尺：3/32インチ = 1フィート

等角投影図

初期アメリカ大陸の声
ジェイ・I・キスラック・コレクション

展示空間の前後比較：
展示前と展示後





米国議会図書館

オリエンテーション ギャラリー

2027年オープン

米国議会図書館

オリエンテーション ギャラリー

2027年オープン





オリエンテーションギャラリー

来館者に以下を促す:

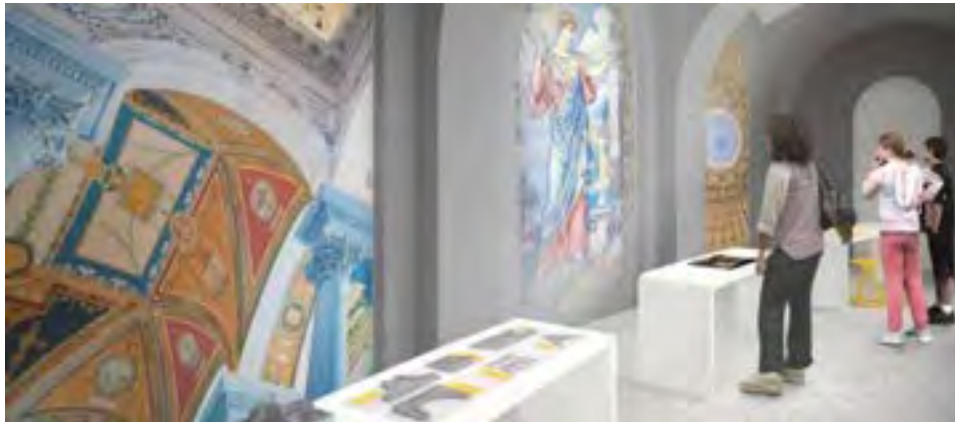
- LOCによって収集、保存、増幅された日常的・非日常的な体験をする
- LOCのコレクションを通して自分自身、家族、コミュニティを知る




オリエンテーション・ギャラリーの完成予想図(2023)

オリエンテーションギャラリー メディア・インタラクティブ

アート+建築ニッチ



アート+建築インタラクティブ用にテストされたデジタルインターフェースのサンプル



ご清聴ありがとうございました！